

医師体験ワークショップ2018

開催日時 平成30年7月29日（日）午後1時～4時30分

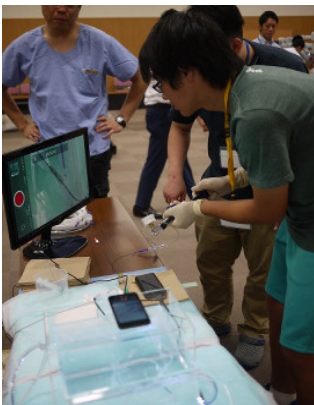
開催場所 長浜赤十字病院 2号館5階 大会議室

協力 長浜赤十字病院・市立長浜病院
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
 株式会社ダテ・メディカルサービス
 聖泉大学看護学部

後援 長浜市・米原市

項目 (腹腔鏡、切開・縫合、心エコー・AED、問診体験、
 気管挿管、カテーテル、ダヴィンチ)

参加者 24名 (応募総数38名) (抽選)



カテーテル



ガウンテクニック



アイスブレイク



切開縫合体験



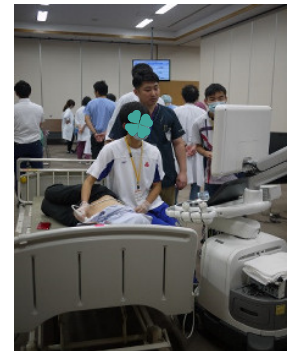
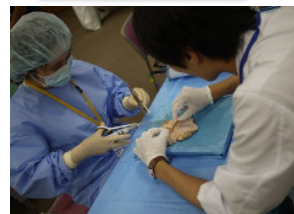
ダ・ヴィンチ



腹腔鏡体験



気管挿管



心エコー



AED



問診体験



認定証

将来は医師、中高生が手術に目撃させ 滋賀・長浜の病院で体験



医師に教わりながら手術用具で鶏肉を切る参加者たち(長浜市宮前町・長浜赤十字病院)

医師の仕事を学ぶワークショップが29日、滋賀県長浜市宮前町の長浜赤十字病院で開かれた。中高生たちが外科手術の切開や縫合、問診を模擬体験し、医療への興味を深めた。

地域医療を支える人材を育てようと湖北医師会が2014年から行っている。同市や米原市など県内の中学2年から高校2年の男女24人が参加した。

手術用のガウンや手袋を身につけた参加者たちはグループに分かれ、同病院や市立長浜病院の医師から手ほどきを受けながら、実際の用具や前立腺手術で使う最新ロボットを操作した。患部に見立てた生の鶏肉を切開するブースでは、

超音波メスを手際よく動かし、皮をはがしていた。

医師志望という立命館守山高1年田中きょうかさん(15)は「肉がすっと切れた」と目を輝かせていた。

【2018年07月30日 11時47分】

中高生、医師の仕事体験

医師会が主催 手術や問診など

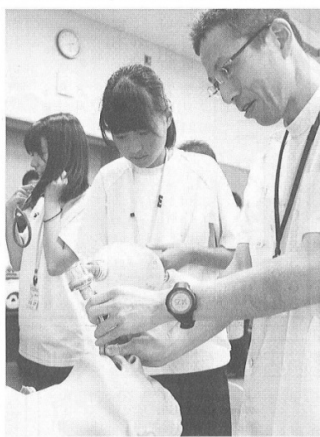
湖北医師会主催の医師体験ワークショップが29日、長浜赤十字病院で開かれ、湖北地域の中学高校生24人が切開や縫合、腹腔鏡手術など医師の仕事体験した。

湖北地域の医療人材不足の解消に向け、地元のを順番に体験し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作にも挑戦。長浜赤十字病院、市立長浜病院の医師、看護師、聖稟大看護学部の学生ら約60人がサポートした。

体験では参加者が超音波メス「ハーモニック」を使って鶏肉を切開し、スタップから皮膚の切開と止血を同時にできる便利なメスなどと説明を受けた。

高1年の豊永陸玖さん(16)は「理系志望なので医学部を志望している。一つとして考えている。手術は難しく、器用さが求められると感じた」と話していた。

医師会の手塚善善会長(64)は理由ははっきりしないが、滋賀県内から医学部に進む人の割合が少なく、滋賀の医療は他の地域の医師に支えられている。きょうの体験が医学部を目指すきっかけとなり、将来、湖北の病院に帰ってきてもらえればと話していた。



人形を使った気管挿管のようす(上) モニターを見ながらの腹腔鏡手術は器用さが求められる(左上) 超音波メスで鶏肉を切開する参加者(左下)

昨年8月14日午後2時45分ごろ、長浜市の女性会社員(当時33)の方のアパートのベランダに干してあった水着やタオルなど3点4000円相当を盗んだ疑い、容疑を認め、

犯行当時、長浜市に住んでいたが、逮捕を免れるため大阪に逃亡していた。

水着盗み、逮捕

長浜署は27日、水着を盗んだ疑いで、大阪市中央区のアルバイト店員、野口佳希容疑者23を逮捕した。

平成 30年 7月 30日付滋賀夕刊新聞

本物の手術器具 医師気分を体験

長浜で中高生講座

湖北医師会の医師体験講座が、長浜市の長浜赤十字病院であり、県内の中高生二十四人が手術器具に触れるなどして医師の気分を味わった。

長浜赤十字病院と市立長浜病院の医師や看護師ら六十人が補助を務め、超音波メスの使い方や縫合の仕方などを学ぶコーナーを用意。腹腔鏡手術の体験では、生徒たちが鉗子と呼ばれる手術器具で極細の糸をつかみ、内臓に見立てたゴムを縫合。モニターを見ながら、手元が狂わないように慎重に作業した。

医師自身が学生時代を振り返るコーナーもあり、「医師になった後は患者とのコミュニケーションも大事。理系教科の勉強だけでなく、いろんな本を読んで力を蓄えて」などと助言。市南中学校二年の折出悠佑さんは「問診体験でのお医

者さんのコミュニケーション力がすごかった。僕も患者さんを支える医者になりたい」と話した。

湖北医師会によると、大医学部への進学者数を調べた文部科学省の二〇二二年の調査では、滋賀県は人口当たりの実績が下から数えて三番目だった。体験講座は今回で五回目。手塚善善会長は「医師不足の中、進路の一つとして医師を志すようになってほしい」と話した。(渡辺大地)



モニターを見ながら鉗子を使い、縫合に挑戦する参加者(7月29日、長浜市の長浜赤十字病院で)

平成 30年 8月 3日付中日新聞